

先月、8回目のオーガニック映画祭を無事終了することができました。大阪府下だけでなく、兵庫や和歌山、滋賀、京都、奈良、また遠くは岡山県や福岡県からもお越しくださり、誠にありがとうございました。また、多くの方のご支援を賜りこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



ある精肉店のはなし

映画、【ある精肉店のはなし】では、牛の解体を目の当たりにし、「命を頂くことを改めて実感しました。」という意見や、【トマト帝国】【たねと私の旅】は、「メディアではなかなか報道されない食の安全、食の裏側にある人の思いを巡らすことができました。」
「社会、政治、お金なんだとつくづく思う。個人がもっと意識を持って欲しい。」などの感想をいただきました。

また、農芸高校ならではの、「生徒の発表や農園ツアーも楽しかった。」とのご意見が多かったのも嬉しいです。

しかし、スケジュールがタイト過ぎる、駅から遠いなど、ご不便をおかけしてしまいました。また、今後活かしていきたいと思えます。



つくる人と、食べる人の距離が遠くなればなるほど、見えなくなるものが、多くなるのかも知れませんね。私は、それをつなぐ役目をしっかり果たさねばと、今回の映画祭を通じて強く思いました。

早速ですが、映画祭の交流会でも差し入れを下さった、羽曳野で有機栽培でイチジクを育てている藤井さんの畑の見学&試食会をします。人気の会ですが天候不良つづきだったので、数年ぶりの開催です。見学後は畑で、北出精肉店さん一押しの和牛でBBQ&ワインを楽しみます。羽曳野の街歩きをしながら、ハイキング気分でご参加くださいね。

食に関しては、農薬や遺伝子組み換えなどの不安や、難しいことも多いですが、私は、楽しく&美味しいことを通じて、感動と納得の輪を広げていけたら、自然と不安はなくなるのではないかと思います。命は命でしか繋げません。だから、感謝して幸せな心でいただきたいですね。【管理栄養士 坂東武子】(写真：中村易世)